

わくわく中部

中部教育局社会教育担当だより
令和7年1月15日発行



写真:ウサギの足跡(琴浦町山川)

1月の主な行事予定

- 14日(火)~2月20日(木)社会教育主事講習 (倉吉体育文化会館)
- 31日(金)鳥取県社会教育協議会理事会 鳥取県社会教育委員連絡協議会理事会 (倉吉体育文化会館)

ちゅうぶくんが行く!

中部のヒト・モノ・コトを訪ねて



社コミュニティセンター (倉吉市)



社 小学校のすぐそば、社コミュニティセンターに行ってきました。

この日は重点取組事業、そばを種から育てて食す会「そば打って食うDAY」。8月に種を播き、11月に収穫されたそばを、地域の方の指導の下、みんなでそば打ちをしました。

そば打ちがはじまると、グループのみんなで、力を合わせてコネコネ。自然と交流が深まります。私は仕事の都合で最後まで居ることができなかったのですが、途中で帰るのが惜しいほど、とても楽しい時間でした。地域の皆さんの元気、子どもたちの元気、そして地域のつながりの心地良さを感じた訪問となりました。



そば打ちを通して
多世代交流



野菜のかき揚げは
サクサクでおいしい!



自分で打ったそばに大満足!





フォーラムとは、英語で集会所を意味し、もともとは古代ローマにあった集会用の広場を指す言葉です。人々が集まる場所という意味合いから、ホールなどの施設名に使用されることもあります。一般的にフォーラムの目的は、あるテーマについて議論・討論を行ない「結論」を出すことです。

単純に集会所を示す言葉でもあるため、テーマに沿って参加者が意見を交わし情報交換することを目的とする場合もあります。公開討論会・座談会と訳されることもあります。



フォーラムとは、
・共通の興味を持つことに対して議論したり、
一つの問題に対して討論したりする場。

中部ハイスクールフォーラム2024

12月14日(土)

鳥取県立美術館



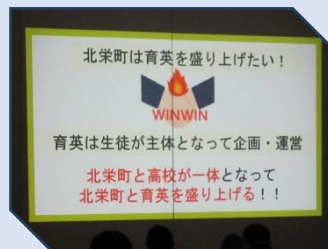
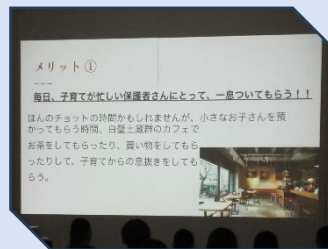
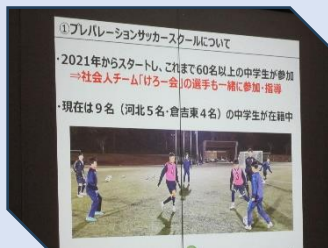
開館前の鳥取県立美術館を会場に、中部ハイスクールフォーラム2024が開催されました。中部地区の高校生54人の他に、中学生、一般の参加もあり、167人の参加者で賑わいました。

前半のプレゼンテーションでは、高校生の地域参画・協働をテーマに、各高等学校・団体が、それぞれ活動の成果や課題に対する解決策の提案など発表を行いました。今回は、小鴨地区で活動する地元高校生グループ「ししGAMO7」による発表も加わり、地域に根差した継続的な活動の様子に、メンバーたちの地元愛を感じました。また、展示による発表、出店での発表も合わせて行われました。

後半は、高校生と参加者が小グループに分かれてグループトークによる意見交換を実施しました。前半には、質疑応答の時間がなかったこともあり、各グループでは活発な意見交換がされました。

「鳥取県中部をもっと盛り上げるためには?」という問いに対しては、高校生・中学生も自分達にできることをしっかりと考えている様子が伺え、参加されている大人の方々の驚きや喜びの声がたくさん聞こえました。

自分事として地域課題に取り組む高校生たちの前向きな姿が、とても清々しく、中部地区の明るい未来を期待させるひとときとなりました。



当日のフォーラムの様子はこちらから (YouTube)



今年も
お願ひ
致します

ちゅうぶ君一家



【あとがき】 「インフルエンザに!」

1月2日に5年に一度の高校の同窓会がありました。私は今回、幹事クラスとなっていたので、去年1年かけて、会場との打合せ、同級生・恩師への連絡、参加者集約、当日の企画運営など、平日夜にオンラインミーティングをして準備を重ねてきました。その甲斐あって、同窓会は無事に盛会となりました。

その後、1月4日に同級生のグループLINEでインフルエンザの感染報告が続々と。私も1月5日に38度の発熱!インフルエンザにかかってしまいました。一生懸命準備してきた同窓会だったのに、インフルエンザの集団感染という、なんとも後味の悪いカンジになってしまいました。